

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	マスコンクリート研究小委員会	主 査 名：桜本 文敏
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会(鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>当建築学会として制定されていない「マスコンクリート指針」の作成を行う。</p> <p>初年度：指針の構成、懸案事項の洗い出し、および本文の検討を行う。1回/2ヶ月程度の頻度で会合を開く。</p> <p>2年度：本文中の懸案事項に関する検討作業の実施し、可能な限り本文を確定させる。同時に、解説の準備作業を行う。</p> <p>3年度：解説の執筆を行い、指針作成を完了させる。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>今本啓一(足利工業大学)、川口 徹(大林組)、黒岩秀介(大成建設)、神代泰道(大林組)、小島正朗(竹中工務店)、桜本文敏(鹿島建設)(主査)、寺井靖人(戸田建設)、棚木 隆(太平洋セメント)、中村成春(宇都宮大学)、鳴瀬浩康(宇部三菱セメント研究所)、西田 朗(清水建設)、野口貴文(東京大学)、丸山一平(広島大学)、御手洗泰文(九州電力)、渡部聡(日東コンクリート技術事務所)</p>	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2004 年度予算	250,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第7回 2004年5月13日(木) 13名、第8回 2004年6月25日(金) 9名、 第9回 2004年8月4日(水) 13名、第10回 2004年9月30日(木) 11名、 第11回 2004年11月25日(木) 14名、第12回 2005年1月18日(火) 11名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートの断熱温度上昇特性について既往研究成果の収集・整理を行い、広範なセメント種類に応じて推奨すべき断熱温度上昇係数を決定した。</li> <li>・断熱温度上昇曲線の回帰式の形式が、マスコンクリートの温度分布解析、温度応力解析に及ぼす影響を検討し、最も一般的に使用されている(シンプルな)回帰式で実用上問題ない精度が確保できることを確認した。</li> <li>・マスコンクリートの品質確保のための制御フローを検討し、①性能設計、②仕様設計、③チャートによる簡易評価法の3本立てとすることを仮決定した。</li> <li>・指針本文構成を検討し、執筆担当者を決定し、本文作成に着手した。</li> </ul>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>途中で主査が交代したこともあり、指針本文作成が遅れぎみであるが、2005 年度中には取り戻したい。</p>
その他評価すべき事項	